

受付番号

2024-20

許可番号

大歯医倫 第 111351 号

研究課題名

内科外来患者でのオーラルフレイルスクリーニング質問票(Oral frailty 5-item Checklist : OF-5)による  
口腔機能評価の有用性の検討

研究責任者

楠 博

申請者

楠 博

研究終了日

2025 年 3 月 31 日

所属

内科学講座

所属

内科学講座

職名

准教授

職名

准教授

申請の概要

高齢者の口腔機能低下(オーラルフレイル)は全身にも悪影響を及ぼすことが近年注目されており、全身のフレイルや加齢に伴う筋肉減少症(サルコペニア)とも関連していることが知られている。

2024 年 4 月 1 日、日本老年医学会、日本老年歯科医学会、日本サルコペニア・フレイル学会による、オーラルフレイルに関する 3 学会合同ステートメントが発表された。本ステートメントでは、オーラルフレイルを歯科医療専門職が不在の場合でも評価を可能とするため、5 項目の「Oral frailty 5-item Checklist : OF-5」が発表された。この 5 項目は「残存歯数の減少」「咀嚼困難感」「嚥下困難感」「口腔乾燥感」「滑舌低下(舌口唇運動機能の低下)」とされ、このうち 2 つ以上該当の場合にオーラルフレイルと定義する。OF-5 を活用することで、より早期の段階から住民に対して口腔機能の『軽微な衰え』を認識してもらうことが可能となる。また、OF-5 は歯科分野以外の医療機関でも使用可能であるため、医科歯科を中心とした多職種協働によるオーラルフレイル対策の底上げにも寄与することが期待されている。本研究では一般内科外来(本学附属病院内科および国立循環器病研究センター 腎臓・高血圧内科)に通院する高齢者を対象とし、OF-5 を用いてオーラルフレイルを認めた群と認めなかった群間で身長、体重などの身体指標や、血液データ、握力などの筋力に相違があるかを検討

する。また、従来使用されている 8 項目の質問表(Oral Frailty Index-8: OFI-8)と比較し、相互の特徴や関連性を検討する。本研究により、今後の医科歯科連携における有益な知見が得られるものと期待される。